



『スパークス 日本株長期投資のすすめ』

スパークスの株式投資、株式市場などに対する見方を紹介するコラムです。

第11号(2008年5月16日)

「『厳選投資ファンド』の運用状況について」

今回は、スパークスが運用しているファンドの内、運用を開始してから約一ヶ月が経過いたしました「スパークス・新・国際優良日本株ファンド(愛称:厳選投資)」について記します。本ファンドは①高い技術力やブランド力があり、今後グローバルでの活躍が期待できる日本企業(新・国際優良企業)を中心に投資する。②ベンチマークは設けず、20銘柄程度に厳選投資する。③原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とする。といった特徴があるファンドです。

ここで、この一ヶ月の運用状況を振り返ってみましょう。3月末から4月末までの運用パフォーマンスは+3.16%となりました。同期間の日本株式市場が大きく上昇したこともあり、株式の組入れを慎重に行い、割安な株価水準にあるものから順次組み入れを行っていますので、4月末現在の株式組入比率は60.3%となっております。

4月末の時点の組入れ銘柄は、新・国際優良企業を中心に21銘柄に投資を行っております。これらの銘柄に関しては今後海外を中心に、大きく成長が期待できる銘柄と考えており、長期で保有していく予定です。

直近一ヶ月間の上位保有銘柄の状況をみてみましょう。高いコンサルティング力を武器にFAセンサーの販売を行なう企業がプラスに貢献しました。今後人件費の上昇が予想される新興国において、同社は省人化のニーズ拡大の恩恵を受けると見ております。

一方、大手総合スポーツ用品メーカーはマイナスに影響しました。しかしながら、同社は近年海外に積極展開したことに加え、日本人メジャーリーガーの活躍も手伝って、ブランドが構築されつつあり、海外売上高が着実に増加しています。また、新興国の生活水準の向上に伴いスポーツの競技人口が増加すると考えられ、高機能でスポーツ用品を総合的に手がける企業には追い風になると見ております。

5月以降も、モノづくり技術や省エネ技術など、日本の強みを発揮して海外で飛躍が期待できる企業を発掘し、中長期的な視点で投資してまいります。

これらの銘柄に関する考え方も今後、皆様にお伝えさせていただきたいと考えております。

(注)本コラムは、マネックス証券Web-Site「マネックスラウンジ」の「マネックスメール」に掲載されている「スパークス・アセット・マネジメントの『SPARX Way』」をもとにスパークスが作成したものであります。また、上記は株式投資に関して理解を深めていただくためのものであり、特定の有価証券を推奨しているものではありません。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。